

大会結果報告

第108回選手権大会 4年ぶり3回戦進出(16強)！

日程	対戦校	結果	バッテリー	安打数	長打	失策
一回戦	防府西	○5-3	網本周一網本賢	9	(二)原田 廉	1
二回戦	徳山高専	○6x-5 (延11回)	網本周一網本賢	8	(二)藤田 峻	1
三回戦	高川学園	●0-15	網本周、田村一網本賢	0	なし	5

【一回戦(7/13)：防府西戦】

3年連続一回戦同一カードとなった防府西戦、昨年の雪辱を果たすべく選手が奮起し、接戦を見事9回逆転で勝利した。初回到に幸先よく2点先制するも、それ以降は得点を奪えなかった。6回到に同点とされ、7回は満塁のピンチを1失点で辛抱強く切り抜けるも、1点を追って最終回へ。先頭代打の河崎(3年)の打球が敵失策を誘い出塁すると、代走・佐伯龍空(3年)がバッテリーミスの一気に三塁へ。四球を挟んで、小林(3年)の犠飛で同点として、その後、原田 廉遠(3年)や田中 瑛人(3年)の適時安打で一気に形勢逆転2点を勝ち越した。その裏、エース網本周(3年)がしっかり抑えて完投、2年ぶりの初戦突破を果たし、ナインは校歌を歌った。

【二回戦(7/19)：徳山高専戦】

延長タイブレークまでもつれる手に汗握る試合となった。先発の網本周は8回まで1失点の好投を見せた。打線は相手好投手から田中 瑛人の適時安打、網本 賢(3年)の犠飛などで3点を奪い3対1で最終回へ。しかし、9回到に制球の乱れと痛恨の2点適時安打を浴び延長戦へ突入した。10回表に1点を奪われたあと、裏の攻撃は2死2,3塁から堀本(3年)の適時安打で土壇場で追いつくことに成功。11回表も1点奪われたあとの攻撃、網本 匠(3年)の犠打が野選を誘い、0死満塁から最後は藤田 峻八(2年)の2点適時安打で死闘を制した。エース網本周は延長11回を一人で投げぬぎ完投、守備は途中主将の田中にアクシデントがありながら、チーム力で守り抜いた。

【三回戦(7/21)：高川学園戦】

昨夏王者で、後に今大会も制する優勝候補筆頭の高川学園と激突した。エース網本周は連戦の疲労もあり、初回から苦しい立ち上がりとなり、これまでミスの連鎖がなかった守備にもほころびが生じて初回から6点を奪われる苦しい立ち上がり。3回到にはこの夏はじめてマウンドに田村(2年)が登り、3年生の想いを背負って腕を振った。しかし、絶対的王者の前に勝利は遠く、結果的には0-15の5回コールド、3回戦敗退でこの夏の幕が閉じた。

三回戦の高川学園戦こそ悔しい結果に終わったが、3年生部員17名を中心に苦しい試合も全員で戦い抜き、「粘り」が光った夏の大会となった。県ベスト4以来の4年ぶりのベスト16入りを果たし、県決勝大会への挑戦は後輩たちに託された。

〔新チーム発足〕18人で組織力磨くも発展途上 今後の躍進誓う

◎第1回徳山東ロータリークラブ杯下松市高校野球大会(8月4日 於 津田恒美 MSD)

	対戦校	結果	バッテリー	安打数	長打	失策
華陵戦	華陵	●3-5	田村一青柳	7	(二)田村	0
下松戦	下松	○13-12	桐山、佐伯一青柳	12	(二)藤田 峻、青柳、田村、藤田 瑛、梅岡 (三)梅岡 (走本)桐山	5

初開催の本大会は7イニング制で下松市内3校が総当たり。結果は1勝1杯で終わった。

◎令和8年度山口県新人高等学校野球大会(8月19日 於 ビジコム柳井 SD)

日程	対戦校	結果	バッテリー	安打数	長打	失策
一回戦	光	●0-10	田村、佐伯一青柳	2	(二)河本	1

◎令和8年度山口県スポーツ大会高校野球競技(9月13日 於 絆 SD)

日程	対戦校	結果	バッテリー	安打数	長打	失策
一回戦	防府商工	●2-5	田村、佐伯一青柳	3	(二)田村	1

春の選抜甲子園につながる秋季大会は、悔しい一回戦敗退となった。4回、連打とパスボールにより1点を先制される。続く5回、ヒットと四球が絡んだ2死1,3塁から連続適時安打を浴び、更に2死2,3塁から2点適時安打も浴びて一挙4点を失った。攻撃は、四球をもらいながらも課題であったフライアウトが多く出てしまい、チャンスで1本が出ず、6回までノーヒットだった。7回、先頭田村(2年)の2塁打がチーム初ヒットになるが、その後痛い走塁ミスも絡みこの回無得点。8,9回到に1点ずつ返すも反撃は及ばず。9回は無死満塁の好機だったが、1得点にとどまった。7回からリリーフした佐伯(1年)は2回を三者凡退に打ち取り持ち味を発揮した。

新チーム発足から、公式戦では悔しい負けが続いている。この現状に向き合い、課題を潰していくことで、来春には勝負できるチームに生まれ変わりたい。

◎新チーム・試合戦績(オープン戦含む)など

12勝 15敗 4分

★8月末には北九州遠征に出向き県外強豪校と対戦しました。

